

## 生産性向上支援訓練カリキュラム

<b>A. 生産管理</b>	製造業の業務の流れ・役割を学び、業務改善の考え方を習得しよう！
生産・開発計画	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上

コースのねらい	製造業の業務の流れと各部門の役割について学び、製造業全体の基本的なしくみを理解するとともに、製造現場での仕事に対する考え方、自身の立場や責任を理解し、業務改善の考え方を習得する。
---------	---

対象	(初任・中堅層向け) ・製造現場の知識を深めたい方 ・製造業の業務の流れを知りたい方
----	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
講義内容	1	ものづくりの仕事の流れ	(1) 製造業を取り巻く環境 ・今は未曾有の変革期？  (2) 仕事を進める上での優先順位 ・ES(環境・安全)の位置付け ・QCD(品質・コスト・納期)の考え方	0.75
	2	ものづくり現場の現状と課題	(1) 改善の必要性 ・利益創出 ・再投資～企業の永続 ・自己成長  (2) ものづくりの現場の基礎は5S ・成果の上がる5Sの進め方  (3) 無駄のみかたと改善の順序 ・無駄(ムダ・むだ)のみかた ・工程改善、作業改善、設備改善から設備投資へ ・点の改善、線の改善、面の改善 ・ものの置き方、運び方	1.5
	3	ものづくりに関する業務改善	(1) 改善手法 ・QC VE IE 発想法  (2) 改善手法を身につける ・動作経済の原則(演習) ・工程分析 ・稼働分析(演習) ・時間研究(演習) ・連合分析  (3) リードタイム短縮 ・量産型と非量産型、それぞれのLT短縮アプローチのしかた  (4) 改善マインド ・改善力は「手法」*「マインド」 ・まとめとグループ討議	3.75
	演習	・動作経済の原則(ピンボード) ・稼働分析(ホワイトボード) ・時間研究(ボールペン組立)	No.3(2)で実施 同上 同上	基本項目 に含む
			合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント
受講した人たちが学んだことを職場に戻ってすぐに実行できる(したくなる)カリキュラムを志向。5Sは「成果につながる進め方」について解説。改善手法は一旦広く紹介したのち、主にIE手法を演習を交え肌で理解する。こうした手法に加え「改善のマインド」の解説も加える。

備考